

ID:	=患者情報!B1		( nab-PTX+キイトルーダ(400) ) 療法				施行日		クール	
患者氏名	=患者情報!B2 殿						入院/外来	入力日	年	月
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	開始日	年	月	日			
疾患名				診療科						
クール	キイトルーダ:6週間毎 nab-PTX:3週投与1週休薬 1クール12週			医師名						
適応基準	<input checked="" type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発									
身長	cm	体重	kg	体表面積	0.00	m <sup>2</sup>	告知の有無	P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済

**重要** B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。  
 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

薬品名	単位	薬品名	単位	外来化療加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外
nab-PTX 100 (アブラキサン)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> mg/body	ヘムプロリスマブ 400	<input type="checkbox"/> mg/m <sup>2</sup> <input checked="" type="checkbox"/> mg/body		

★ キイトルーダ+nab-PTX併用(Day1、43) ★

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
★ A	レスタミンコワ錠 (10mg)	5錠	P.O	前投薬(注射)と同時に投与
	デキサト注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V	
	ファモチジン注 (20mg)	20mg		
	生食液 (50mL)	50mL		
★ B	生理食塩液 (50mL)	50mL		D.I.V
	ヘムプロリスマブ注 [キイトルーダ]	400 mg		
	生食液 (50mL)	50 mL		
	生理食塩液 (50mL)	50mL		
★ C	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg	D.I.V	30分
	生食液 (100mL) ※	100mL		

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

○ nab-PTX単剤(Day8、15、29、36、57、64、71) ○

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
○ A	レスタミンコワ錠 (10mg)	5錠	P.O	前投薬(注射)と同時に投与
	デキサト注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V	
	ファモチジン注 (20mg)	20mg		
	生食液 (50mL)	50mL		
○ C	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	mg		D.I.V
	生食液 (100mL) ※	100mL		

※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注

**血漿分画製剤で、ロット番号の記録および保存が必要!**

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照  
 1パイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。  
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

**アブラキサンについて、インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。**

**薬剤師へ;キイトルーダ混注時は必ずフィルター付きプライミングセットを使用して下さい。**

	1Kur目												2Kur目		確認者	監査者
	Day	1	8	15	22	29	36	43	50	57	64	71	78	85		
キイトルーダ	★	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○	★	○	
nab-PTX	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	x	↓	↓	↓	

注意事項など

- 【払出し～回収まで】
- Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入+シール貼付する。 ※事前準備はしない
  - 注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
  - 看護部側へは、注射箋・薬剤包装箱・ロットシールを払い出す。  
 ※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。  
 (混注業務は薬剤師のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
  - 看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
  - 薬剤部は、実施後、注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。